



## 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年の第8回大会では力強いご声援をいただき有難うございました。お陰さまで毎回成長し続けられることは大きな喜びです。ところで初打ちはいつ頃のご予定でしょうか？  
新年に何時も思うことですが昨日と何等変わらない今日であるのに、年が改まると気持ちも改まるのが不思議です。まるで新しい手帳のページをめくる時の感覚のように…皆様はいかががでしょうか？

さて、「全日本シニアレディースソフトテニス決勝大会」も今年は第9回を迎えます。先輩方の思いを受けとめスタートした大会ですが、幸い協賛してくださる企業、支援の輪の拡がり、出場選手の熱い戦いとギャラリーの声援、そして大会を主管する実行委員会委員の頑張り！これらが一体となってこの大会に関わる人達を魅了してしまいます。

大会をスタートさせた当初から実行委員会メンバーが共有したことは、「プレイヤーズ・ファースト」「身の丈に合ったコンパクトな運営」でした。この姿勢は継承されると思います。又私の希望でもあります。

今月末に第8回大会の「反省会」が、開催されます。大会運営の反省点を実行委員各自が持ち寄り次大会に活かす作業の中で、以前各チーム監督からご提案頂いていることやシニアレディース界の情勢を分析し、それらに最大限応えてゆくべき時期に差し掛かってきたと思っております。3年来の懸案をまとめる今大会では、皆様の思いを再度お聞かせ下さい。

「継続は力なり」と申します。実は大変難しいことでもあります。ブロック(近畿レディース連盟)で実行委員会を組織し全国大会を毎年主管する稀有な例ですが、それだけにブロック内での研鑽は目覚ましく限りない効果を生み出しているのも事実です。続けてゆくのに充分値します。

私達は大会運営にあたりあくまでも黒子に徹しながら、主役である選手の皆様に輝いていただきたいと願っております。そんなメッセージを発信しつつ「より良い大会」に育ててゆく輪の中に皆様の参画をお待ちしたいと願っております。

本年も皆様にとって良き年でありますようお祈りいたします。

全日本シニアレディースソフトテニス決勝大会  
実行委員会 会長 山本 幸子